



# Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

## 評価報告書

ナウル共和国

— 2019年度 地域巡回機能回復等推進事業 —  
(終了時評価 2020年4月)

### 事業概要

国名	ナウル共和国
プロジェクト名	2019年度 FDAPIN VI プロジェクト
実施期間	2019年8月6日(覚書署名)～2020年3月31日
相手国政府覚書署名 省庁名及び実施機関	覚書署名省庁：漁業海洋資源局 (NFMRA: Nauru Fisheries Marine Resources Authority) 実施機関：漁業海洋資源局

### プロジェクト実施の経緯と背景



ナウル共和国(以下「ナウル」という。)政府は、2005年に策定した長期戦略 (National Sustainable Development Strategy 2005年～2025年(NSDS、2009年に改訂))の中で、海洋・漁業分野においては以下の8項目を戦略として掲げている。

1. NFMRAの組織力の強化
2. 海洋資源からの持続的な経済収益の拡大
3. 商用漁業の開発の核となる民間漁業活動の促進
4. 水産養殖の開発促進
5. 食糧安全保障及び代替生計手段を広げる持続的な海洋資源の活用
6. 海洋生物及び生態系を保護するための持続可能な実践的活動の確立

## 7. 違法、無規制、無報告漁業の排除

## 8. 沿岸海洋資源の調査

このような戦略の下、NFMRA では各種の漁業振興策を実施しているが、同国の水産関連施設は、故障や老朽化等のため本来の機能を発揮することができず、漁業活動に支障を来している。

このため、ナウル政府は、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設等の修理・修復及び現地技術者への技術移転についての要請を行った。

財団は我が国とナウルとの漁業関係の重要性を踏まえ、同国政府の漁業振興策を支援するため、本プロジェクトを実施した。

### 目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業の生産性が向上し、小規模漁業が発展する
プロジェクト目標	水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する 水産関連施設の管理・運営が改善され、活性化・自立化が促進される
成果	①NFMRA 多目的船の修理・修復及び技術指導並びに底魚釣り漁法の技術指導 多目的船 NF1 及び NF2 の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上した。また、漁労機器（電動リール及び竿）が装備され、それらの使用方法が指導されることにより、NFMRA 職員の漁労機器の取扱いに係る技術が向上した。 ②NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導 NFMRA ワークショップ（非常用発電機、ウィンチ）の機能強化、修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上した。
活動	①NFMRA 多目的船の修理・修復及び技術指導並びに底魚釣り漁法の技術指導 多目的船の電源操作盤、航海灯等の交換及び底魚釣りに係る技術指導を行った。 ②NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導 NFMRA ワークショップの非常用発電機やスリップウェイウィンチの修理等を行うとともに、同修理やワークショップの維持・管理に係る技術指導を行った。
投入	財団側 1) 専門家 計画 巡回指導：チームリーダー／漁船機関専門家

	<p>漁業普及技術者 2020年2月中旬～3月上旬(23日)</p> <p>実績 巡回指導：チームリーダー／漁船機関専門家 2020年2月15日～3月6日(21日) 漁業普及技術者 2020年2月25日～3月13日(18日)</p> <p>延日数 計画：(46人・日) 実績：(39人・日)(計画対比：85%)</p> <p>2) 主な資機材 電源操作盤、航海灯等安全航海機器一式、漁労機器、ワークショップ機能強化用資機材一式</p> <p>3) 事業費 予算額 12,933千円 実績額 11,920千円(予算対比：92%)</p> <p>相手国側</p> <p>1) 主なカウンターパート ①NFMRA 多目的船の修理・修復及び技術指導並びに底魚釣り漁法の技術指導 NFMRA 2名 ②NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導 NFMRA 1名</p> <p>2) プロジェクト関連予算、土地、施設等 ワークショップ、事務室、NFMRA 車両の無償提供</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 評価事項

### ◆ 妥当性

#### 1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、ナウル政府の長期開発計画において海洋・漁業分野の重要戦略として記載されている「食糧安全保障及び代替生計手段を広げる持続的な海洋資源の活用、商用漁業の開発の核となる民間漁業活動の促進」などに合致した事業内容であり、妥当と判

断される。

## 2. 協力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

ナウル政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転を要請されており、事前調査において NFMRA 多目的船の機能の強化、修理・修復、技術指導及び底魚釣り漁法の技術指導並びに NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

## 3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、廃棄部品等の扱いについては、周辺の自然環境や島民の生活環境に悪影響を及ぼさぬよう、常に環境保全に配慮している。

## 4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設（船舶）及び NFMRA ワークショップの機能回復を図り、その運営・管理に対する助言及び底魚釣り漁業の技術指導であり、多目的船及びワークショップの機能回復は周辺水域の水産資源に対する負荷を大きくするなどの影響を与えるものではない。

また、熱帯域の礁魚及び底魚類は資源的に脆弱であるものの、底釣漁法は選択性が高く、当該資源にアクセスする者も少ないことから、同漁法の技術指導が資源に与える圧力は限定的である。

## 5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

特になし。

## ◆ 効 率 性

### 1. 事業費及び実施期間

荒天に伴い出船が不可能となった場合でも屋内で可能な技術指導に切り替える等適宜計画を見直し、実施期間内を終了することができた。（予算及び計画対比：事業費 92%、実施期間 85%）

### 2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材及び専門家は実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で技術移転に関する指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

荒天に伴い出船が不可能となった場合でも屋内での技術指導に切り替える等、適宜計画を見直した。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

## ◆有効性

1. プロジェクト目標の達成度

① プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの知識及び技術レベルは益々向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

プロジェクト目標：水産関連施設の管理・運営が改善され、活性化・自立化が促進される。

漁具の作成及び試験操業が行われ、また、必要な技術移転が行われたことから、プロジェクトの目標は達成された。

② その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

① NFMRA 多目的船の修理・修復及び技術指導並びに底魚釣り漁法の技術指導

期待された成果：NF1 及び NF2 の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。また、漁労機器（電動リール、竿）が装備され、それらの使用方法が指導されることにより、NFMRA 職員の漁労機器の取扱いに係る技術が向上する。

多目的船の安全航海等に係る機器の修理・修復を実施し、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行ったことにより、多目的船の維持・管理能力が向上し稼働が円滑になった。

また、2018 年度に導入した、新たな漁具による漁法の理解がさらに深まった。

## ② NFMRA ワークショップの機能の強化、修理・修復及び技術指導

期待された成果：NFMRA ワークショップ（非常用発電機、ウィンチ）の機能強化、修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する

ワークショップの機能強化及びスリップウェイウィンチの修理・修復を実施し、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行ったことにより、施設の稼働が円滑になった。

## ◆インパクト

### 1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、多目的船及びワークショップの整備担当職員の技術が向上した。また、新たな漁具・漁法が導入され、未利用資源の開発が進み、沖合漁業の活性化が期待されることから、プロジェクト目標は達成された。

今後、多目的船が順調に稼働し、新たな漁具・漁法が順調に機能すれば、上位目標である修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産の増加、小規模漁業の発展に一定の効果を及ぼすとともに、ナウル政府が策定した長期開発戦略に掲げる「食糧安全保障及び代替生計手段を広げる持続的な海洋資源の活用、商用漁業の開発の核となる民間漁業活動の促進」の達成にも寄与することも見込まれる。

### 2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、多目的船が安定的に稼働し、沿岸海洋資源に関する科学調査や、民間漁船の遭難時の救助等に安定的に対応できるようになった。

また、今後新たな漁具・漁法が順調に普及すれば、漁獲物の多様化が図られ、売上の向上が期待できる。それにより漁業が活性化して漁民の所得が向上し、対象地域の経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。

### 3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

## ◆持続性

### 1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートはNFMRAの職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設の管理を担当する予定である。

供与された資機材は、NFMRA ワークショップの非常用発電機並びに多目的船の稼働及

び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

**2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか**

本プロジェクトにより施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、ナウル政府は当該施設の継続的運営が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識しており、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。

**3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）**

特になし。

以上